

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC220	科目名	社会文化研修	担当者名	棟方 梢
授業の概要	研修を通して、ひとりの人間として、「命」の大切さを別角度から考える。広く他地域に目を向け、文化・思想等、見聞を広める。また、地域の独自性や平和の考え方等から、豊かな教養と感性を身につけることが主なねらいである。中でもハンセン病施設を見学し、療養所の現状や介護事情や生活様式を知ることねらいの一つである。				
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の事前・事後学習を通して訪問先の歴史・文化・教育等を知る。 ・自らの視野を広め、教養を豊かにすると共に多角的な視野を持てるようになる。 ・社会の一員としての自覚が芽生え、平和概念と異文化理解を深める。 ・国立療養所での諸事情について理解を深める。 				
DPの観点	⑤コミュニケーション能力 ④協働能力 ⑥幅広い教養 ⑦主体性				
授業時間外学修(予習・復習)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習として、訪問先の情報をレポートにまとめ、発表する。 ・事後学習は研修体験レポートを作成する。 				
フィードバックの方法	レポート				
単位認定の要件	研修の参加態度や、事前・事後レポートの提出を単位認定の要件とする。				
評価の方法・割合(%)	提出物20%、研修参加態度70%、平常点10%				
履修上の注意事項					

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			目的・意義の確認	⑥	レポート
2			平和概念や療養所に関する情報収集	⑥、⑦	レポート
3			歴史と平和理解	⑥	レポート
4			現地の状況や関連施設の由来の理解	⑦	レポート
5			思想や教育・文化・生活	④	レポート
6			食文化の違いと生活環境	④	レポート
7			現地医療場面と支援体制	④	レポート
8			訪問地周辺の特色のディベート	⑤、⑦	レポート
9			ハンセン病に関する各種活動内容の理解	⑥	レポート
10			国立療養所に関する基礎知識	⑥	レポート
11			首里城・現地状況理解	⑥	レポート
12			関係施設に関する情報の確認	⑥	レポート
13			事前学習発表会	⑤、⑦	レポート
14			現地最新事情の説明	⑥	レポート
15			事後レポート課題	⑥、⑦	レポート
期末試験					

使用テキスト	随時資料等を配布します。
参考文献 参考URL	
備考	

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働能力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--